



# 加茂川中学校だより2019



京都市立加茂川中学校  
令和2年1月7日(火)

第11号

新春号

文責：校長 太田勝



向上心に限界はない！できないことは「伸びしろ」！可能性をストップさせない！

何人知ってる？ 子（ねすみ）どし生まれの有名人！

木村拓哉（歌手）	カズレーザー（お笑い芸人）
マツコ・デラックス（タレント）	船越英一郎（俳優）
佐々木彩夏（ももいろクローバーZ）	力道山（プロレスラー）
明智光秀（戦国武将）	西郷隆盛（武士・政治家）
菊池寛（作家）	山村紅葉（女優）
	トルストイ（小説家）



中国の「漢書」では、「子」は繁殖する・生むという意味があり、新しい生命が種子の中に萌（きざ）しあげる状態を表しているといわれているそうです。中国伝来の「十二支」は、もともと植物が循環する様子を表しているので、十二支の一番目にそのような意味をもつ「子」がくるのです。【そう言えば昨年の「亥」は「果実が種子となり、エネルギーを蓄えて次の世代へと向かう準備をする」という意味でしたね。】

つまり今年は「新しい物事」のはじまる年ということで、経済界には「子」は「繁栄」という格言もあるそうです。

12年前の子年（2008年）は、こんな年でした！

◆北島康介が北京オリンピックで平泳ぎ2冠達成。

◆アラフォー・ゲリラ豪雨が流行語 ◆崖の上のボニョが邦画1位。

◆安室奈美恵が10代・20代・30代と続けてミリオン達成。

## 3年生、応援しています！

3年生にとっては、中学校卒業後の進路を決定する時期を迎えるました。不安や心配があるかもしれませんね。ところで、今の自分自身の学校での様子はどうですか？「遅刻はしていませんか？」「ちゃんと勉強していますか？」「決まりやルールは守っていますか？」

◆人間は「指示」や「命令」だけでは動かない！◆という話を聞いたことがあります。例えば一人の人間が、別の誰かの「指示」に従うのは、その指示の「うしろ」にある意味や本質（なぜそういうことを指示されたのか）を理解しているからだそうです。つまり、みんなが「ちゃんと同じことをする」ことが大切なではなく、「みんなが分かって動いた結果、その行動をとること」が大事なのです。そうでなければ「みんなと同じこと」ができない人は、単なる「悪者」になってしまいます。この「みんなが分かる」→「理解する」→「共有する」ことが「学校」という場所の存在意義だと考えています。（極論ですが、「知識」だけならスマホがあれば怖い物なしです）進路決定が目的ではありません。進路決定を目標にその後も「学び続ける姿勢」を期待しています。その先に何があるかという「ワクワク感」こそが学び続ける姿につながります。だからこそ、「学びに敗者はない！過去の自分と今の自分を振り返り、成長したことを実感してほしい！」



①それぞれが自分で決めた目標を、「お互いに尊重すること、

「励まし合い、支え合っていこう」ということを心に刻んでほしい。

②もう悩まずに進むしかない。これまでと、これからも積み重ねる努力が無駄にならないように、必要なことを、学年の先生・保護者としっかり共有してほしい。周りにはみんなを応援してくれている人がいることを大切にしてほしい。

③大切なのは3年後、あるいは成人となる5年後の「自分の姿」。

これから自分の自分に期待をしつづけてほしい。



あれから、3年・・・。



喜びも不安も包み込んでくれた  
教室・クラスメイト・先生・・・。

卒業まで、あと66日！

## 人権標語・社会を明るくする運動

加茂川中学校では、年間2回「人権学習」を実施しています。同時に、「加茂川中学校地区生徒指導連絡協議会」主催の人権標語や「社会を明るくする運動」の作文コンクールにも取り組んでいます。人権標語の優秀作品には以下の標語が選ばれました。

『ぼくたちは 心が1つの ONE TEAM』  
1年 K・Sくん

『いいじめじゃない』 あなたが決める ことじゃない』  
2年 O・Bくん

社会を明るくする運動の作文コンクールの入賞は以下のとおりです。

北区民生児童委員会会長賞  
「犯罪・非行を起こした人を受け入れる」  
2年 O・Sさん

北防犯推進委員連絡協議会会长賞  
「誰かを支えるために」  
2年 K・Yさん

みなさん本当に  
おめでとうございます。



## 1組合同運動会・交流学習

12月6日（金）は1組の「合同運動会」が島津アリーナで行われました。入場行進や選手宣誓につづく競技の中では、みんな元気いっぱいに力を発揮しました。



中でも、学校対抗リレーは大変白熱しました。1走目はスタートダッシュに成功して1位でバトンをつなぎました。3走目へのバトンパスの際に2位となりましたが、抜き返してアンカーへとバトンは手渡されました。アンカー同士は激しく競り合い、ほぼ同時でゴールしました。一瞬、「負けたかも？」という不安がよぎりましたが、「第1位、加茂川中」というアナウンスが聞こえた瞬間、先生同士も肩を抱き合って喜びました。

1組では他にも他の中学校との交流会や紫野授産所との交流会・小中の交流会も行いました。



## 祝・70周年！記念講演会

加茂川中学校は今年度「創立70周年」を迎えた。その記念事業の一環として上田藍選手（トライアスロン競技・オリンピック3大会連続出場）をお招きして「記念講演会」を行いました。今年の東京オリンピックを目指して日々トレーニングを重ねている様子、ワールドカップなどの大会に出場されている様子やその成績・落車による大けがのことにもふれられました。

「できないことがあっても伸びしろだと考えてほしい」「人と比べず、自分の成長に集中することも大切」「自分の可能性を、自分の気持ちでストップさせない」「みんなと一緒に夢をつかめるようにしていきたい」など、素敵なお話に感動しました。

後半では、金メダルを生徒にかけていただいたり、生徒からは応援の「横断幕」や「パブリカ」の歌を贈りました。



## 【保護者のみなさまへ】

新しい年を迎えました。創立70周年事業としての「記念講演会」を無事に終えることができました。記念の「ファイル」や「70周年記念誌」も間もなく完成いたします。加茂川中学校の「あゆみ」を、みなさんと共有できるものとなることを期待しております。今年もどうぞよろしくお願ひいたします。（教職員一同）